奥多摩むかし道

全長約9km **歩行約4時間**

0 250 500m

❶むかし道南氷川入口-(約1.2km)-❷槐木-(約2.7km)-❸白髭神社-(約2.7km)-❹中山通行止ゲート付近-(約2.4km)-❺むかし道水根入口

●裏に続きがあります。●この面は【氷川～惣岳渓谷】で、全体の約半分です。

奥多摩むかし道の歴史　＊「奥多摩町誌 歴史編」を参照。

◇「奥多摩むかし道」は、奥多摩町氷川地区から小河内地区までの旧青梅街道を巡る歴史の道です。

◇青梅街道が最初に開拓されたのは慶長年間で、青梅と新宿を結ぶ道でした。当時、青梅の上成木周辺にて良質の白土(石灰)が多く産出し、江戸城の改築のために輸送されました。上成木が出発点のため、成木街道とも呼ばれました。

◇その後、青梅街道は多摩川に沿い西へと開拓され小河内に達した後、大菩薩峠を越えて甲府に至ったため、江戸時代には甲州裏街道とも呼ばれました。甲州街道と比較すると2里(約8km)短く、多くの庶民に利用されました。

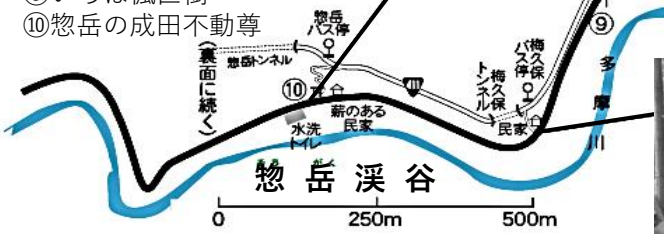
◇現在の青梅街道は明治11年に初めて開通した道で、鴨沢・丹波を経由し柳沢峠を越えて甲州市の塩山を抜け甲府に至るルートになっています。

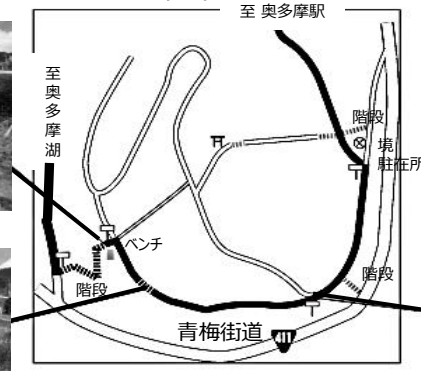
◇この街道を通り、奥多摩から青梅へと、木炭、白箸、下駄材、山葵なども出荷されました。奥多摩氷川地区から青梅までは約5里の距離があり日帰りが困難であったため、氷川には馬方宿が営まれ繁盛しました。

◇旧青梅街道、つまり「奥多摩むかし道」の路傍には、今でも石碑や塔、祠などが数多く見られ、いにしえの情景がうかがえます。また、そのルート自体は現在においても各集落の人々にはなくてはならない生活道です。

歴史・文化財

①奥氷川神社
②愛宕神社
③羽黒坂・羽黒三田神社
④槐木
⑤不動の上滝・小中沢橋
⑥白髭神社
⑦弁慶の腕ぬき岩
⑧耳神様
⑨いろは楓巨樹
⑩惣岳の成田不動尊





拡大図

奥多摩むかし道

全長約9km **歩行約4時間**

0 250m 500m

❶むかし道南氷川入口-(約1.2km)-❷槐木-(約2.7km)-❸白髭神社-(約2.7km)-❹中山通行止ゲート付近-(約2.4km)-❺むかし道水根入口

●裏に続きがあります。●この面は【惣岳渓谷～水根】で、全体の約半分です。

滝のり沢バス停へ

歴史・文化財

⑩惣岳の成田不動尊
⑪惣岳渓谷
⑫がんどうの馬頭様
⑬縁結びの地蔵尊
⑭馬の水のみ場
⑮牛頭観音様
⑯むし歯地蔵尊
⑰玉堂歌碑
⑱道祖神
⑲浅間神社
⑳水根新道の碑
㉑小河内ダム

祭礼行事

水と緑のふれあい館

原の獅子舞（9月第2日曜）
小留浦の山祇神社から伝授されたといわれる。水曳(獅子の服)には鶴の丸の紋がついている。

川野の獅子舞(9月第2日曜)
細おもての獅子頭3匹で舞う。日原の獅子舞と同系統だが、より活発な動作をする。

○散策時のお願い

・ゴミは絶対に捨てず全て持ち帰ってください。
・動植物は採取しないでください。
・トイレなど公共施設はきれいに使いましょう。
・集落を通るルートでは近隣住民の方に迷惑をかけないよう気をつけましょう。

東京都 **奥多摩ビジターセンター**
開館時間：9:00～16:30
休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
住所：〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川171-1
電話：0428-83-2037
URL：https://www.ces-net.jp/okutamavc/

指定管理者：(株) 自然教育研究センター（略称：CES）

2020年10月1日発行